Photo ふなばし

千人の音楽祭'97

とくしゅう PART1

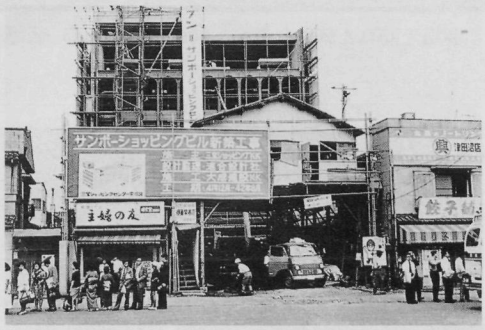
ふなばし音楽フェスティバル'97

心に響くハーモニー

とくしゅう PART2

市制60周年記念

ふなばし今・昔



昭和42年の国鉄津田沼駅前

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- **サークル通信**
- *WE ARE IN FUNABASHI*

まちなかの文化財／ふなばしの民話
市民ひとことインタビュー

vol. 78

広報ふなばし写真版

3月号（隔月第4月曜日発行）

とくしゅう PART1

ふなばし音楽フェスティバル'97 心に響くハーモニー

会場を訪れた皆さん総勢5,000人が大合唱。会場いっぱいに歌声が響きわたり、感動の熱気にあふれていました

船橋は音楽が大変盛んなまちです。市内には150を超える音楽関係の団体が、公民館などを中心に活動しています。また、昨年御滝中学校管弦楽部が、全国学校合奏コンクールで日本一になったほか、これまでにも小栗原小学校、前原小学校、三田中学校、法田中学校が日本一になるなど小・中学校のオーケストラやブラスバンドは常に優秀な成績を収めています。

こうした中、船橋の音楽活動をより充実させようと、今年から2月を音楽月間として、市民文化ホールや公民館などを会場に、様々なイベントを行いました。

中でも、2月9日に船橋アリーナで行われた「千人の音楽祭」は、"音楽のまち・船橋"から全国へ音楽メッセージを発信するというテーマのもと、小学生から大人まで、音楽を愛する人たちが一堂に会する、市内最大の音楽イベントです。

そこで今号では、千人の音楽祭をはじめとする「ふなばし音楽フェスティバル」の様々な催しを写真で紹介します。

小・中学校合同吹奏楽では、16の小・中学校が『マイ・バラード』などを熱演

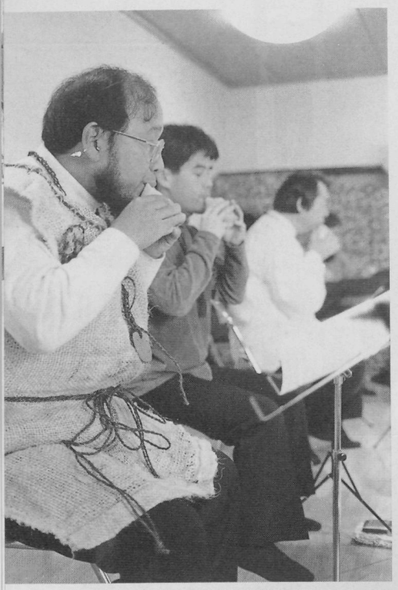
一般公募も含め、この日のために結成された市民オーケストラと市民合唱団の皆さんによるベートーベンの『第九』

船橋市三曲協会の皆さんは『四方(よも)の海』と『千鳥の曲』を合奏

美しいソプラノを披露した杉田和子さんと、軽快なジャズを演奏した船吹倶楽部

「千人の音楽祭」のフィナーレは、出演者全員とスタッフ、観客席も一体になって盛り上がったフィナーレ

法田、小室中学校のマーチングバンド



2月15日、海神北一自治会館で行われた「縄文の風コンサートin飛ノ台」

2月11日、“日本の歌　明治から平成へ”と題して行われた「童謡コンサート」。プロ歌手の皆さんと、市内の小学校の児童による合唱も披露されました

地元のピアニスト渡辺たまみさんと東京ハルモニア室内オーケストラによる「コンサート・in・たかね台」

2月23日に塚田公民館で行われた「11弦ギターと19世紀ギターの世界」

市内の小・中学生などがプロの奏者から演奏指導を受けた「器楽クリニック」

2月2日の「バンドスタンド船橋」。ビッグバンドの迫力ある演奏が大好評

「バンドスタンド船橋」で、音楽を通した交流をさらに深めましょうとあいさつする大橋和夫市長

芝六太鼓の皆さんが力強い和太鼓を披露した「やくえんだいふれあいコンサート」

2月22日の「やくえんだいふれあいコンサート」では、和太鼓とジャズの競演が行われました

北老人福祉センターでは、アコーディオンの演奏に合わせて、なつかしい歌謡曲をみんなで合唱

「やくえんだいふれあいコンサート」の第二部では、ワインを片手にピアノの演奏を鑑賞

とくしゅう PART2

市制60周年記念 ふなばし 今・昔

船橋市が誕生して、4月で60年になります。昭和12年の市制施行時、4万3000人だった人口は、今や54万人。船橋市は、首都圏の中核都市へと成長し、21世紀に向けてさらに発展を続けています。

市では、市制60周年記念式典を4月16日に開催するのをはじめ、記念写真展や様々なイベントを開催します。

今号では、市民の皆さんからお借りした昔の写真と今の船橋の様子を比べながら、船橋市の移り変わりを写真でつづってみました。

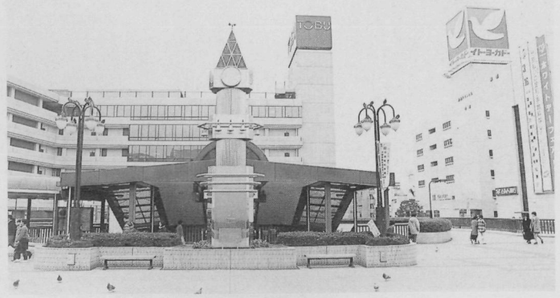
写真を見ながら、なつかしい話に花を咲かせてみませんか。

昭和30年ごろの国鉄船橋駅南口

現在のJR船橋駅南口。長年の懸案だった再開発事業も本格的にスタート

年月日	主な出来事
昭12年 4月1日	市制施行（面積 40・29㎢ 千葉県告示人口4万2981人）船橋町・葛飾町・八栄村・法典村・塚田村が合併
昭14年 7月15日	国道（現・14号線）千葉～市川間開通
昭15年 9月	第2次世界大戦始まる
昭16年 8月	人口5万人を突破
昭18年 12月	真珠湾攻撃（太平洋戦争始まる）
昭19年 5月15日	公有水面埋立地を湊町1～3丁目に編入
3月1日	総武鉄道が東武鉄道に合併。東武鉄道野田線となる
昭20年 8月15日	第2次世界大戦終わる
昭21年 11月4日	市立図書館開館
昭22年 5月	日本国憲法施行・地方自治法施行
12月27日	新京成線 津田沼～薬園台駅間開通
昭23年 3月	船橋市警察署（自治体警察）発足
8月26日	新京成線 薬園台～滝不動駅間開通
昭24年 1月8日	新京成線 滝不動～鎌ヶ谷大仏駅間開通
4月1日	消防本部（現・消防局）設置
	公民館（現・中央公民館）開館
昭25年 6月25日	市広報創刊（毎月1回発行）
昭26年 9月1日	船橋保健所開設
12月1日	船橋市社会福祉協議会設立
昭27年 7月1日	住民登録実施
昭28年 8月1日	千葉郡二宮町（面積18・35㎢ 人口1万4296人）を船橋市に合併
昭29年 4月1日	市人口10万人突破
	千葉郡豊富村（面積22・98㎢ 人口4128人）を船橋市に合併
昭30年 4月21日	新京成線 京成津田沼～松戸駅間全線開通
昭31年 11月5日	船橋ヘルスセンター開場
昭32年 8月20日	公有水面埋立により浜町が誕生
4月1日	市立船橋高等学校開校
昭33年 11月10日	国鉄西船橋駅開業
昭34年 1月20日	旧船橋市役所庁舎完成
昭35年 4月29日	京葉道路 船橋～小松川間第1期工事区間開通
5月20日	町会自治会連合協議会発足
7月15日	公有水面埋め立てにより日の出町、栄町が誕生
昭36年 10月1日	前原団地入居開始
12月15日	高根台団地入居開始
	公有水面埋め立てにより、西浦町が誕生、50万坪埋立工事完了
昭38年 10月26日	新京成線 前原～高根公団駅間複線営業開始
昭39年 3月12日	東武野田線 新船橋～塚田駅間複線営業開始
昭40年 5月31日	市人口20万人突破
9月1日	市内初の住居表示（湊町1～3・南本町）
11月7日	運動公園競技場完成

昭和44年の船橋駅北口


車道と歩道が完全に分離され、安全で機能的になった船橋駅北口広場

船橋中学校付近から東武野田線新船橋駅方面を望む（昭和38年）

船橋中学校付近から新船橋駅方面を望む。現在は住宅がぎっしりと立ち並んでいます

春の海老川（昭和43年）

ジョギングロードが整備された現在の海老川。春には350本の桜が咲き誇ります

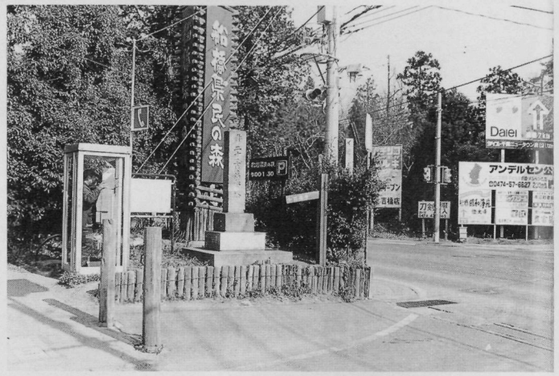
昭41年 2月1日	簡易マザーズホーム（現・西簡易マザーズホーム）開園
昭43年 8月13日	天沼弁天池公園開園
昭44年 8月1日	第1回産業まつり開催
3月29日	地下鉄東西線 西船橋～中野駅間開通
5月23日	中央卸売市場青果部門営業開始
7月15日	市人口30万人突破
昭45年 5月1日	養護老人ホーム豊寿園開設
8月30日	本町・宮本通りで第1回歩行者天国
11月10日	市の木を「サザンカ」に選定
昭46年 5月19日	行田無線塔の解体作業始まる
昭47年 7月15日	総武線 船橋～津田沼駅間複々線完成
	快速電車 東京～津田沼駅間開通
昭48年 10月14日	若潮国体開催
12月1日	夜間急病診療所開設
昭49年 5月10日	市人口40万人突破
昭50年 6月27日	公有水面埋め立てにより、高瀬町・潮見町誕生
9月1日	老人福祉センター（現・中央老人福祉センター）開館
昭51年 6月27日	市営潮干狩場開設
昭52年 12月18日	休日急患歯科診療所開設
昭53年 7月1日	市民文化ホール開館
10月2日	武蔵野線 西船橋～新松戸駅間開通
昭54年 3月8日	北総開発鉄道北総線 小室～北初富駅間開通
4月1日	市立船橋養護学校開校
昭55年 4月1日	四市複合事務組合馬込斉場開設
昭56年 6月1日	一宮少年自然の家開所
昭57年 3月20日	野外彫刻第1号を中央公民館前に設置
7月15日	船橋海浜公園開園
11月29日	市役所新庁舎完成
昭58年 4月1日	老人大学開校
5日	屋根付きゲートボール場完成
8月16日	第1回「私があげる花火大会」開催
9月22日	市立医療センター開院
10月1日	「スポーツ健康都市」を宣言
10日	住都公団千葉ニュータウン線 小室～千葉ニュータウン中央駅間開通
昭59年 3月19日	社会福祉会館開館
4月9日	法典東小学校男子が全日本バレーボール小学生大会で優勝
8月17日	海老川ジョギングロード一部完成
昭60年 10月10日	京葉線 西船橋～千葉みなと駅間開通
昭61年 3月3日	スポーツ健康大学開校
4月5日	米国カリフォルニア州ヘイワード市と姉妹都市提携を調印
11月7日	「平和都市」を宣言
12月19日	市立船橋高校、男子第37回全国高校駅伝競走大会で初優勝
21日	津田沼駅北口土地区画整理事業が完成
昭62年 3月31日	武道センター完成
6月2日	総合教育センター完成
7月1日	市制施行50周年記念式典
24日	

昭和41年の北習志野駅前通り。団地の造成が始まっています

現在の北習志野駅前通りは、商店街も整備され活気にあふれています

湊町3丁目の舟だまり。奥に見えるのは船橋ヘルスセンター（昭和36年12月）

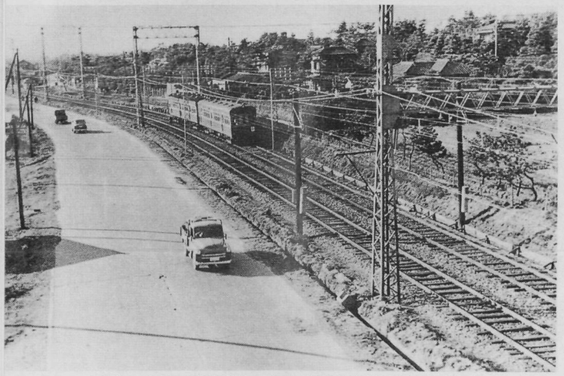
先祖供養のために1819年に建てられた、二十三夜供養塔。以前は豊富十字路の中央にありました（昭和39年）



アンデルセン公園と船橋県民の森近くの豊富十字路には、今も二十三夜供養塔が建っています

現在の湊町3丁目の舟だまり

昭和16年の中山交差点



現在の花輪IC付近から市川方面を望む（昭和26年）

花輪ICから市川方面を望む。現在は、国道14号線の交通量が著しく増加しました

現在の中山交差点。中山法華経寺の参道として、今もなお、たくさんの参拝客が訪れています

昭62年	11月15日	ワンパク王国開園
昭63年	3月27日	市立船橋高校野球部、春の甲子園初出場
	31日	習志野台第二小学校ミニバスケットボール部が日本一
	4月26日	中国・西安市と友好交流促進合意書を調印
	6月27日	船橋市文学賞を創設
	9月1日	六都県市合同防災訓練を高瀬町で実施
	10月15日	岡本太郎作の「平和を呼ぶ像」がワンパク王国に完成
平元年	4月6日	デンマーク・オーデンセ市と姉妹都市提携を調印
	6月1日	勤労市民センター完成
	6月6日	夏見バイパス（3・3・8号線）開通
	8月30日	南部清掃工場（ごみ焼却施設）完成
	11月8日	ヘイワード市モロー高校と市立船橋高校が姉妹校提携を調印
	12月24日	市立船橋高校、女子第1回全国高校駅伝競走大会で優勝
平2年	3月3日	大神宮下道路（3・4・25号線）が幅員16メートルに拡張され開通
	4月1日	65歳以上の人が市人口の7パーセントを超え、高齢化社会に突入
	11月26日	船橋駅北口地下駐車場が完成
平3年	4月1日	新基本計画「ふなばし未来２００１」策定
		船橋市立看護専門学校開校
		公文書公開制度と個人情報保護制度開始
	6月20日	船橋駅北口「おまつり広場」完成
	12日	都市計画道路3・4・22号線の行田団地から国道14号間が開通
	8月22日	古和釜中学校女子バスケットボール部が全国大会で優勝
		「在宅医療・介護支援センター」開設
	10月7日	農業センター完成
	31日	磁気カードによる住民票の自動交付開始
平4年	12月2日	塚田小学校に「夢の音楽室」が完成
	1月14日	海老川・長津川第1期改修工事完了
	2月20日	船橋ケーブルネットワーク㈱開局
	4月1日	海浜公園温水プール完成
	29日	海老川13橋完成
	5月28日	デンマークフェア開催
	7月27日	「福祉と緑の都市」を宣言
	9月14日	消防局救急ステーション完成
	11月1日	法田中学校吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクールで金賞
	12月5日	全国学校合奏コンクールで三田中学校が5年連続日本一、小栗原小学校が5度目の日本一
平5年	1月10日	本町2丁目再開発ビル「スクエア21」完成。ビル内に「市民ギャラリー」、「茶華道センター」開設
	2月9日	京成本線連続立体交差事業着工
	4月1日	「ドクターカー」24時間体制本稼働

	20日	透水性タイル実験工場完成
	8月8日	市立船橋高校、夏の甲子園初出場でベスト4
		県立船橋二和高校、全国高校演劇大会で3度目の日本一
	9月27日	建設省の「環境共生モデル都市（エコシティ）」に指定される
平6年	12月15日	高瀬下水処理場着工
	1月13日	総合体育館（船橋アリーナ）完成
	4月1日	㈶船橋市福祉サービス公社設立
	4月2日	老人訪問看護ステーション開設
	21日	北部福祉会館開館
	27日	医療センターに救命救急センター開設
	5月11日	北部福祉会館内にさざんか歯科診療所を開設
	6月1日	女性センター開設
	11月2日	中国・西安市と友好都市提携を調印
平7年	1月8日	市立船橋高校、全国高校サッカー選手権大会で初優勝
	3月13日	震災対策でミニバイク隊（１００台）を導入
	5月10日	船橋市と西安市の小・中・高校が友好学校提携を調印
	28日	震災対策救命・救急訓練実施
	8月1日	全国初の「環境共生まちづくり条例」施行
	12月21日	京葉道路花輪インターチェンジ、千葉方向入り口開通
平8年	3月	JR船橋駅南口再開発事業で第一地区の権利者全員が合意
	4月11日	湾岸道路の二俣・西浦交差点、立体交差完成
	27日	東葉高速線開通
	5月4日	ケア・リハビリセンター着工
	9日	西部福祉会館開館
	9月1日	ＡＬＴ（外国人語学指導助手）を市立の全中・高校に配置
	10月8日	船橋市・ヘイワード市姉妹都市提携10周年記念事業
	25日	アンデルセン公園開園
	11月3日	西安城壁国際マラソン大会開催
	12月10日	御滝中学校が全国学校合奏コンクールで日本一
	14日	海水による大規模消火システムの下水道利用方式が完成し、全システム完成
平9年	1月8日	市立船橋高校、全国高校サッカー選手権大会で2年ぶり2度目の優勝
	2月	ふなばし音楽フェスティバル開催

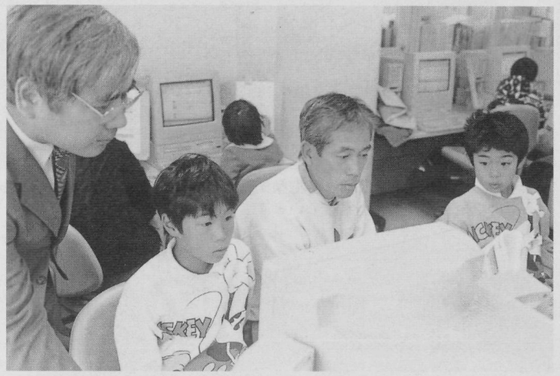
写真提供者
栗原稔さん、塚本芳巳さん、手塚博禮さん、三輪俊三さん、山川正作さん、和田勇さん
ご協力ありがとうございました。

市政トピックス

第11回生涯学習フェア
ライフ・ラーニング'97 まなぶこと、あそぶこと

2月15日の記念講演会。黒板を使って熱弁を振るう田中康夫さん

2月2日のジャズコンサートを皮切りに、生涯学習フェアが開催されました。11回目となる今年は、「ライフ・ラーニング'97 まなぶこと、あそぶこと」をテーマに、パソコン教室や防災フェア、バス施設めぐりなど、楽しい催しが盛りだくさん。2月15日には、市民文化ホールで作家の田中康夫さんを講師に招いて、記念講演会も行われました。現在も続けている阪神・淡路大震災のボランティア活動の話に、会場に詰めかけた510人の皆さんは、メモをとるなど熱心に耳を傾けていました。


親子パソコン教室では、インターネットのホームページづくりにチャレンジ（船橋情報ビジネス専門学校）

3月1日、東部公民館で行われた「昔に学ぶ」では、赤十字奉仕団の皆さんによるすいとんの試食会が行われました

森の音楽座「春風コンサート」
舞台と客席が一体に

ユーモアとセンスあふれる舞台が繰り広げられました

最後は、会場の皆さんも一緒になって『春の小川』を合唱しました

3月1日、森の音楽座「春風コンサート」が宮本公民館で開催されました。森の音楽座は、千葉県在住の音楽家が、舞台と客席が一体となって楽しめるクラシック音楽を創造しようと結成され、常にユーモアとセンスあふれる舞台を繰り広げています。

今回のコンサートでは、日本の四季の歌とアメリカのメロディーの二部構成で行われました。第一部では、春の曲のメドレーや『浜辺の歌』などを情緒たっぷりに、第二部では、ディズニーメドレーなどを明るく楽しい雰囲気で歌い上げました。最後には、訪れた皆さんも一緒になって『春の小川』を合唱。会場一杯に歌声が響きわたりました。

小学生・女子駅伝競走大会
163チームが熱戦を展開

運動公園周回コースで競われました

レース終了後、各部門ごとに表彰式が行われました

2月11日、小学生・女子駅伝競走大会が、運動公園で行われました。15回目を迎えた今大会には、163チームが参加。小学生は男子と女子とクラブチーム、女子は中学生、高校生、一般の部門に分かれ健脚を競いました。大会は、快晴に恵まれ、絶好のコンディションのなか、抜きつ抜かれつのデッドヒートが繰り広げられていました。

第5回まちづくりフォーラム
専門家と市民代表をパネラーに

船橋のまちづくりについて、それぞれの立場から意見が述べられました

「船橋のまちはかわった」と題して講話する大橋和夫市長

2月28日、中央公民館で第5回船橋市まちづくりフォーラムが開かれました。初めに、「船橋のまちはかわった」と題して、大橋和夫市長が講話。24時間体制で市民を見守る市立医療センターやドクターカーシステムの開設、氾濫が見られなくなった海老川上流地区で始まる新しい地域づくりなどについて話しました。

後半は、NHKアナウンサーの中村薫さんをコーディネーターに、「市民が望むまちづくりとは」をテーマに討論会。まちづくりの専門家と市民代表が、それぞれの立場から熱心に話し合いました。

まちなかの文化財
臥竜の松
（海神3丁目）

不思議な松でしてね。え、どんな風にですって。とにかく一度見てやってください。ご案内しますよ――A先生の巧みな話術に乗せられて、一見に如かずと出向いてみた。

出向いてみて驚いた。話の通りかそれ以上である。しばし言葉を失って沈黙していると、傍らの先生は甚だ得意である。どうです、霊感が漂っていますでしょ。これが日によっては怖いぐらいですよ――たしかに一本一本が強烈な個性を主張、まずは異様な造型と云っていい。ふと「雷に撃かれし松の聳えて立てるが」という、あの『雨月物語』浅茅が宿の一節を思い浮かべたりした。

やはり雷に打ち砕かれでもしたか、或は暴風に吹き折られたか。が、眼前のこの異形のダイナミズムの前にはそんな詮索など無用だろう。虚心に佇ち、只眺めるばかり。

ところで名前がまだ付いていない、名付け親になれと私に強要する。難題だ。竜のようだとは誰でもそう思う。が暴れ狂う竜と見立てたとして全容は地上に現れていない。巨大な本体、心臓部は地中深くに隠されている。考えてると少し悪寒がする。今日は帰ろう。

足下に目をやる。早くも可憐なオオイヌフグリの花たちが、春先のまだ冷たい風に一斉に青い小鈴を震わせている。音は聴こえないけれど。

（文・大木勲）

根元に稲荷社がまつられています

異様な造型を見せる三本の松

市内のお花見スポット

中山競馬場前桜並木（市道印内・古作線）

海老川ジョギングロード

御滝公園

海老川ジョギングロード	JR船橋駅下車徒歩15分 京成線大神宮下駅下車徒歩15分	高根台さくら公園	新京成線高根公団駅下車徒歩12分
御滝公園	新京成線滝不動駅下車徒歩10分	天沼弁天池公園	JR船橋駅下車徒歩3分
県立行田公園	JR西船橋駅から京成バス「行田団地」行きで終点下車	アンデルセン公園	新京成線三咲駅から新京成バス「小室駅」行き、または「豊富農協前」行きで「ワンパク王国」下車
北習志野近隣公園	北習志野駅下車徒歩5分	中山競馬場前桜並木	京成線東中山駅下車徒歩15分

伝統行事

中野木の辻切り
八坂神社（中野木1）

大仏追善供養
不動院（本町3）

中野木の辻切り。わらで作られた大蛇は、長さが8メートルにもなります

2月9日、中野木の八坂神社で辻切りが行われました。この行事は、わらで作った2匹の大蛇を中野木地区の東西の入口にある木にまきつけ、疫病や悪霊が入らないよう願う風習です。

また、2月28日には不動院（本町3）で大仏追善供養が行われました。これは、漁場争いが絶えなかったころ、死をもって船橋の漁場を守った2人の漁師総代を供養するため、文政8年（1825年）に始まったものです。

大仏追善供養。大仏に白米を盛り上げるように付けて供養するという全国的にも珍しい行事です

市民ひとことインタビュー

テーマ **好きな音楽は？**

クラシックをよく聞きます。精神的にリラックスできていいですね
花川志保さん（印内）

ポップスです。ウルフルズなどノリのいい曲が好きです
松本隆志さん（宮本）

歌謡曲が好きですね。華原朋美の歌をよく口ずさみます
石塚真理子さん（駿河台）
夏儀くん（1歳）

森進一の演歌が好きですね。カラオケでも歌います
渡辺乾三さん（宮本）

童謡です。家で子どもと一緒に歌います
友清祐子さん（南三咲）
渉くん（5歳）
井出聡美ちゃん（6歳）

皆さんからの情報をお待ちしています。
◆広報課
☎36－2015

船橋幼児ミニサッカー大会
めざせ未来のJリーガー

元気な掛け声とともにグラウンド狭しと駆け回りました

ハーフタイムには、コーチから専門的なアドバイスも飛んでいました

第3回船橋幼児ミニサッカー大会が3月2日、運動公園自由広場で行われました。時折小雨の降るあいにくのコンディションの中、幼稚園や保育園などから18チームが参加して、キックオフ。応援のお父さんやお母さんからの熱い声援が飛ぶなか、ボールを追って元気いっぱい走り回るチビッ子たちは、寒さにも負けずハッスルプレーを連発していました。

フォルクローレ・チャリティーコンサート
アンデスの風に吹かれて

インカ語で「太陽のコンドル」という意味を持つグループ「インティクントゥル」

曲に合わせた手拍子が会場に鳴り響きました

2月26日、二和公民館で行われたこの催しは、南米アンデス山脈で生まれた伝統的民族音楽「フォルクローレ」のコンサート。5回目を迎えた今回の収益金は、ペルーの恵まれない子どもたちのために使われます。

当日、会場を訪れた240人の皆さんは、民族楽器が奏でる温かい音色に大きな拍手を送っていました。

ふなばしの民話

田螺（たにし）は薬師様の乗り馬

文・村上昭三

古和釜の人たちの信仰の厚い薬師堂

むかし、お百姓の野良仕事は、機械らしい道具がなく、大汗をかきながらの力仕事でしたので、その汗が目にぽたぽたと入りました。また、家の中では煮炊きに焚火（たび）を使い、家中が煙っぽいので、いつも目をしょぼしょぼさせていました。

そのためか、目の病が多く、農村の人々の間では「いつも目の具合いが悪くて、ものがよく見えなくて困ったもんだのー」と、嘆く声が聞かれました。

こんなことから、古和釜の村では目が悪くなると、村人は東光寺の境内の一角にずーっと昔から祀（まつ）っている薬師堂の所に行き「薬師様、目の病が早く直りますように、どうかお願えします」と言っては、お堂の前で手を合わせて拝んだり、お堂の周りの回廊をぐるぐる回ってお祈りをしました。

そしてその後で、お堂の裏側の椎の木の根元近くからこんこんと湧き出る清水を容器に汲（く）み、その水に薬屋の薬を溶き、それで目を洗って直しました。

ところがその頃、田圃（たんぼ）には田螺が沢山（たくさん）いて、付近の村々では田圃の佃煮（つくだに）と呼んで好み、手軽に採って来てはちょっと料理し「これは、いつ食べても、本当に旨（うま）え、旨え」と言いながら、盛（も）んにお菜にして食べていました。

しかし、この薬師様を殊の外に熱心に信心している石神某家をはじめ周囲の家々では、田螺を一切口にしませんでした。

そこで、その訳を聞くと「田螺はな、日頃お参りしている薬師様の大事な乗り馬だで、昔から食べるでねえと、先祖代々言い継がれて来ているんだ」ということで、この言い伝えを固く守っていました。

このように、古和釜の村で薬師様を深く信心している家々では、八幡大社の神様の鹿を乗り馬とするように、薬師様の乗り馬は田螺だということで、田螺を大事に保護し、そして絶対に食べなかったということです。

あい・らぶ・ふなばし

船橋の人たちは人情味があります

宋　逸瑾（いっきん）さん（習志野台）

「船橋は、外国人を大切にするまちですね。近所の皆さんがとても親切にしてくれます」と、流ちょうな日本語で話してくれる宋さんは、中国・上海市のご出身。昨年の4月に来日し、船橋でホームステイをしています。

「日本に来たその日に、ホームステイ先の方が近所の公園の桜を見せてくれたんです。初めて見たんですが、すごく奇麗で、今でも印象に残っています」

現在は、日本語学校に通いながら、中国語教室で講師をしているそうです。

中国では、上海外国語大学の日本語学部を卒業後、語学力を生かして、上海にある日系企業に就職しました。「日本というと、隣の国なのに、工業製品のことしか知らない人が多いんですよ。私も初めは、単に言葉だけを学んでいましたが、職場で、日本人と接しているうちに、日本の文化や風俗にも興味を持つようになったんです」。その思いが強くなり、会社を辞めて日本に留学しました。

そんな宋さんの日本語学校の卒業論文は、人情あふれる『映画・寅さんシリーズ』を題材にしたものです。「船橋の人たちも、人情味があっていいですね」と、にっこり微笑む宋さん。夢は、ホームステイの経験を生かし、中国に戻って、日本と中国の橋渡しになるような仕事に就くことだそうです。

ズームアップ

常に挑戦する気持ちで取り組んでいます

工芸作家　三木　剣舟
藤江　泉舟（滝台町）

「自分の彫りを妥協したくないですね」と話す三木さん（左）と藤江さん（右）

数々の作品が展示されているギャラリー

「自分を満たしてくれる作品は決して創れないんです。常に挑戦する気持ちで取り組んでいます」と言う三木さん。昨年秋には木彫漆器を気軽に、そして、ゆっくりくつろぎながら鑑賞してもらおうと、自宅を改修してギャラリーを開設した。展示してあるものは、自ら制作した一般雑器や茶道具、アクセサリーなど。

三木さんが木彫漆器を手がけるようになったのは30年前。京都を訪れるなど、独学で彫りの勉強をした。また同時に、自分の感性に合う塗り師を探し歩き、そこから独自の剣舟彫りの世界を開拓していった。

その後、個展を開催する傍ら、ガラスメーカーと協力して、剣舟彫りの良さをデザインに取り入れた商品の制作も手がけた。また、そのころには三木さんに師事する人も現れた。藤江さんはその中の一人で、現在は唯一の弟子として、また、共同制作者として作品づくりに取り組んでいる。

二人の木彫漆器づくりは、木地選びから始まる。主に使うのは、柾（まさ）目の桂材。それも北海道産。「寒冷地で育ったものは、締まりがよく狂いが少ないので、仕上がりがいいんです」。花びらや葉などの細部の特徴が描かれている部分小図と、それらをまとめる構図をもとに図案を付ける。そして彫り。100本以上の彫刻刀を使い、様々な角度、深さに彫り込んでいく。こうして仕上げたものを塗り師に託す。

しかし、彫りと塗りには相反するものがある。「彫りを生かすためには薄い塗りでないとだめなんですが、漆塗りの良さは重ねて塗ることにあるんです。だからといって塗りやすくするために、自分の彫りを妥協するわけにはいかないんです」とお二人。その言葉には、ものづくりへの熱意が込められていた。

まい・ふぁっしょん

青木もえ さん（松が丘）

黒いニットのタートルネックセーターに、茶のストライプパンツ姿で登場した青木さん。

「普段は、ジーンズとかカジュアルな格好が多いですね。色合いや柄のバランスを考えて、洋服を選ぶようにしています」

趣味は、クラリネットとスキューバダイビング。今年もパラオの碧（あお）い海に潜るそうです。

あとがき

平成8年4月1日、船橋市は市制施行60周年を迎えますが、これに先立って「広報ふなばし」で昔の写真を募集したところ、たくさんの皆さんからご応募いただきました。誠にありがとうございます。早速、今回の特集で一部を紹介させていただきました。

皆さんからお寄せいただいた写真を一枚一枚見ていくと、私を含め、船橋生まれの職員にとっても、どれも懐かしいものばかりです。

「天沼弁天池で釣りをしたなー」、「津田沼といえばサンポーピルだよね」、「え！これが北習志野駅前なの」等々…。今回の特集では、ほんの一部しかご紹介できませんでしたが、これらの写真は、貴重な資料として保存させていただくと同時に、今後の広報紙や60周年記念誌、写真展などに活用し、紹介していきたいと考えています。（七）

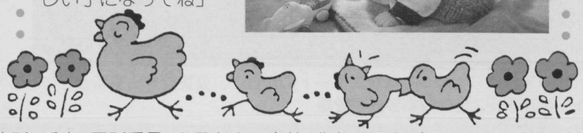
ハローBaby

鶴見　晃良（あきら）くん（高根台）

平成8年8月23日生

ママから一言

「元気で素直なやさしい子になってね」



〈ハローBaby 応募要領〉 4月15日㈫までにハガキに住所、氏名、電話番号、お子さんの名前、生年月日をご記入の上、広報課へ。応募多数は抽選。年齢は4月15日現在で1歳未満とさせていただきます。

みんなの広場 サークル通信

❶発足年月日　❷活動場所　❸活動日　❹会員数　❺連絡先

易の会

あなたも易経の世界をのぞいてみませんか

①平成3年4月
②二和公民館
③第2・4土曜日（10時～12時）
④25人
⑤稲村美代子 ☎57-0660

易経を中心に勉強しています

エスポーザ船橋レディースF.C.

サッカーの楽しさを味わってみませんか

基礎技術を大切にしています

①平成9年1月
②県立船橋東高校グラウンド
③毎週日曜日（10時～12時）
④15人
⑤永田由紀子 ☎38-2123

エアロビクス同好会

私たちと一緒に日ごろの運動不足を解消しましょう

①昭和60年4月
②丸山公民館
③毎週水曜日（13時30分～15時）
④24人
⑤高崎紀恵 38－7957

明るく楽しくがモットーです

かしの木茶道クラブ

人の和を大切に、楽しく活動しています

伝統的な立ち居振る舞い、礼儀作法を学びます

①平成元年7月
②八木が谷公民館
③第1・3火曜日（10時～12時）
④10人
⑤土居靖子 ☎47-2366

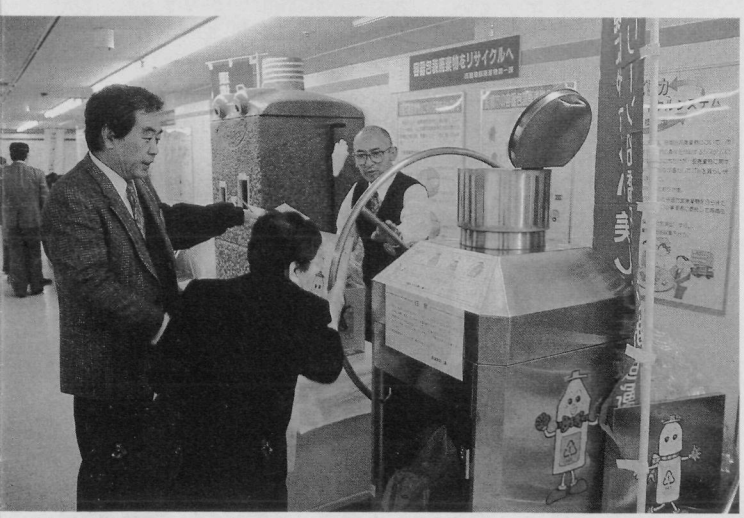
掲載希望の方は、広報課（36-2015）まで

ヘルシー船橋フェア&船橋市生活展
暮らしに役立つ情報満載

イベント・アトラクションコーナーでは、心肺蘇生法の実演や太巻き寿司作り、医師会、歯科医師会の医師による講演などが行われました

生活展では、消費者団体や企業などが食や環境問題についての研究成果を発表しました

ヘルシーチェックコーナーで行われた血液検査



4月1日からのペットボトル回収スタートに伴って、公民館や出張所などに設けられるプレス付き収集容器も登場

「みんなで考えよう いきいき健康 明るい暮らし」をテーマに、第10回ヘルシー船橋フェアが2月13日から18日まで、東武百貨店船橋店で開催されました。医師や歯科医師による相談コーナーや様々な講演などが行われ、健康情報いっぱいの催しとなりました。

また、同時開催された生活展には、市内の消費者団体など21団体が参加。料理教室や人形劇などのアトラクションをはじめ、食や環境問題についての研究発表が行われました。